

令和8年度 (教科名 社会) 第2学年 「地理的分野」 135 船橋希望中学校

学期	前後期	時限	教科書ページ	項目 (◎学習課題)	目標	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
第3部 日本のさまざまな地域						
第1章 地域調査のしかた						
<p>■章の問い■ 学校周辺の地域にはどのような特色があり、それらを探るには、どのような方法があるのだろうか。</p>						
2年1学期	2年前期	50	128 129	1 調査テーマを決めよう ◎学校周辺の地域の調査テーマを決めるときは、どのような視点や手順を意図するとよいのだろうか。	<p>場所などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身につける。</p> <p>(1) 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解する。</p> <p>(2) 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身につける。</p> <p>(3) 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	<p>①地図や景観写真、統計資料などを的確に読み取る技能や、地域調査を行う際の視点、方法を理解している。</p> <p>②対象地域の地域的特色や課題をとらえるために適切な地理的事象を取りあげ、それらを多面的・多角的に調査、考察している。</p> <p>③対象地域の特色や課題を主体的に追究しようとしている。</p>
2年1学期	2年前期	51	134 135	2 調査方法を考えよう ◎調査テーマを追究するためには、どのようなことを、どのような方法で調べればよいのだろうか。	<p>(1) 調査方法と野外調査を組み合わせた計画的な準備を進める。</p> <p>(2) 野外調査を安全に、効率よく行う方法を考える。</p>	<p>①調査テーマに対する予想が正しいかどうかを確かめさせ、調査項目や調査方法について理解している。</p> <p>②調査方法に活用できる適切な地図や景観写真、統計資料を収集している。</p> <p>③調査テーマに対する仮説を検証するためには、どのような調査方法があるかを多面的・多角的に考察している。</p>
2年1学期	2年前期	52	136 137	3 野外調査を実行しよう ◎野外観察や聞き取り調査を充実させるためには、どのような点を大切に実施すればよいのだろうか。	<p>(1) 調査ルートを作成し、ルート上の調査や聞き取り調査の結果、景観のスケッチなどを記録する。</p> <p>(2) 実際に野外調査を行うなかで、効率的かつ効果的な調査を考えながら実施する。</p>	<p>①仮説を検証するための調査を行っていることを理解している。</p> <p>②調査した結果を適切に記録したり、聞き取り調査を行ったりする方法を理解させる。</p> <p>③実際に野外調査を行うことを通じて、効率的かつ効果的な調査を行うには、どのようにしたらよいかを、考えている。</p>
2年1学期	2年前期	53	138 139	4 調査を深めて結果を発表しよう ◎調査した内容を深め、考察した結果を適切にまとめるためには、どのような点を大切にすればよいのだろうか。	<p>(1) 調査のテーマや目的、調査方法、調査結果、結論などについて簡潔に記述する。</p> <p>(2) 視覚的に分かりやすくまとめ、考察しながら発表の準備を行う。</p>	<p>①現地で調査したことや、地図・文献資料などの考察を通して、地域の変容やその背景などをとらえ、地域的特色や課題を理解している。</p> <p>②調査結果を適切に分かりやすくレポートなどにまとめ、よりよい調査結果のまとめ方を理解している。</p> <p>③文献資料などを活用して、野外調査で明らかになった地域的特色や課題を多面的・多角的に考察している。</p>
第2章 日本の地域的特色						
<p>■章の問い■ 日本は、自然環境や人口、産業、交通・通信などの特徴から、どのような地域に区分できるのだろうか。</p>						
2年1学期	2年前期	54	140 141	1 山がちな日本の地形 ◎日本の地形には、どのような特徴があるのだろうか。	<p>(1) 日本列島は国土に占める山地の割合が高く、フォッサマグナを境に日本の地形の特色が東西で異なっていることを理解する。</p> <p>(2) 日本列島の地形の特色を、環太平洋造山帯との関わりから考察する。</p>	<p>①日本列島は山地の割合が高く、フォッサマグナを境に日本の地形の特色が東西で異なっていることを理解している。</p> <p>②日本列島で地震や火山が多い理由を、環太平洋造山帯との関わりから考察している。</p>
2年1学期	2年前期	55	142 143	2 川がつくる地形と海岸や海洋の特徴 ◎日本の平野や海岸、日本を取り巻く海には、どのような特徴があるのだろうか。	<p>(1) 日本は、周囲を海に囲まれて多様な海岸線が見られることや、日本近海の地形や潮流の特色を理解する。</p> <p>(2) 川がつくるさまざまな地形の特色を理解し、どのような土地利用がなされているのかを考察する。</p>	<p>①日本を取り囲む海岸線の特色と、大陸棚と海溝の違いや暖流と寒流の違いを理解している。</p> <p>②平野や盆地のほか、扇状地や三角州、台地など川がつくる地形の特色を理解させ、どのような土地利用がなされているのかを考察している。</p>
2年1学期	2年前期	56	144 145	3 日本の気候 ◎日本各地の気候には、地域ごとにどのような特徴があるのだろうか。	<p>(1) 日本の気候の特色を世界の気候帯との関わりから理解する。</p> <p>(2) 日本の気候を北と南、太平洋側と日本海側、内陸部と沿岸部などの視点から区分し、それぞれの気候区分の特色を雨温図から考察する。</p>	<p>①温帯と亜寒帯に属する日本の気候の特色を、四季の違いに着目して理解している。</p> <p>②地域により気候が異なる理由を、気候区分図や雨温図などを活用させ、地形や緯度、海流、季節風などから多面的・多角的に考察している。</p>
2年1学期	2年前期	57	146 147	4 日本のさまざまな自然災害 ◎日本で発生する自然災害は、地形や気候とどのような関わりがあるのだろうか。	<p>(1) 地震や火山による災害の特徴を理解し、日本では地震や火山の災害が多い理由を理解する。</p> <p>(2) 日本は台風や大雨、冷害、大雪などの気象災害が多い理由を考察する。</p>	<p>①日本は地震や火山による災害のほか、台風や大雨、冷害、大雪などの気象災害が多いことを理解している。</p> <p>②日本で地震や火山による災害や気象災害が多い理由を、環太平洋造山帯との関わりや四季が明瞭な気候など、日本の自然環境の特色から多面的・多角的に考察している。</p>
2年1学期	2年前期	58	148 149	5 自然災害に対する備え ◎自然災害からの被害を防いだり減らしたりするために、どのような取り組みが行われているのだろうか。	<p>(1) 自然災害の発生を防ぐことができないことに気付き、防災や減災の必要性について理解する。</p> <p>(2) 災害への対策について、国や地方公共団体が行う取り組みのほかに地域や個人で行う対策について考察する。</p> <p>(3) さまざまな自然災害から身を守るために、自分の地域に必要な対策や準備について、主体的に考察、追究する。</p>	<p>①自然災害への備えは、施設や設備によるハード面の対策と、情報の共有や防災訓練などのソフト面での対策が必要であることを理解している。</p> <p>②災害への対策は、自助、共助、公助の観点から、相互に補完し合って行われなければならないことを考察している。</p> <p>③さまざまな自然災害から身を守るために、自分の地域に必要な対策や準備について、主体的に粘り強く考察、追究している。</p>

2年1学期	2年前期	59	152 153	6 日本の人口 ◎日本の人口分布や人口構成には、どのような特徴があるのだろうか。	① 日本の人口分布の特色と、人口が集中する地域と少ない地域の課題を理解する。 ② 増え続けてきた日本の人口が減少に転じ、少子高齢化が進んでいる理由を考察する。	①日本の人口は三大都市圏に集中していることを理解するとともに、人口減少により、地域社会の維持が困難になっている地域が増えていることを理解している。 ②子育てと仕事の両立が難しいことを背景に、出生率が低下する一方、食生活の改善や医療技術の進歩などにより高齢化が進んでいることを多面的・多角的に考察している。
2年1学期	2年前期	60	154 155	7 日本の資源・エネルギーと電力 ◎資源を輸入に頼る日本では、持続可能な社会を実現するために、どのような取り組みが行われているのだろうか。	① 日本の資源やエネルギーの自給率が低いことを理解し、資源・エネルギーの安定確保のためにどのような取り組みが行われているか理解する。 ② 日本の発電量の内訳が変化してきた理由とその課題を考察する。 ③ これからの日本のよりよい資源・エネルギーや電力供給の在り方について、主体的に追究する。	①日本は資源やエネルギーの自給率が低いため、資源のリサイクルや消費電力の少ない家電製品の開発、電気自動車の普及など、省エネルギーの取り組みを行っていることを理解している。 ②日本では、原子力発電の割合が減少し、火力発電に依存するようになった理由と、火力発電に依存することから生じる課題について考察させ、表現している。 ③これからの日本のよりよい資源・エネルギーや電力供給の在り方について、社会情勢を考慮しながら、主体的に粘り強く追究している。
学期	前後期	時 限	教科書 ページ	項目 (◎学習課題)	目標	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
2年1学期	2年前期	61	158 160	8 日本の産業 ◎日本の産業には、どのような特徴や課題があるのだろうか。	① 様々な条件を考慮しながら培われた日本の産業の特色を理解する。 ② 日本の農業・林業・漁業に共通する課題を考察する。	①日本では、地形や気候に合わせた農業や漁業、林業が行われていることを理解している。 ②輸入農産物の増加や後継者不足と高齢化など、日本の農業・林業・漁業に共通する課題について多面的・多角的に考察し、表現している。
2年1学期	2年前期	62	162 163	9 日本の交通網・通信網 ◎交通網や通信網が発達したことで、地域間の結びつきはどのように変化したのだろうか。	① 輸送手段や交通網の発達により、世界と日本の結びつきが深まり、人々の生活が変化していることを理解する。 ② 交通網や通信網の発達に伴う、利便性の向上と問題点について考察する。	①航空路線の拡大に伴って出入国者が増加し、国内では道路網の整備によって、自動車の割合が増加してきたことを理解している。 ②交通網や通信網の発達によって結びつきが強まることによる、利点や問題点を考察している。
2年1学期	2年前期	63	164	10 日本の地域区分 ◎いくつかの視点をもとに日本を区分すると、どのような特色がみえてくるのだろうか。	① 日本はさまざまな視点から地域区分することができることや、地域区分の目的と利点を理解する。 ② 主題図を基に自ら地域区分を行い、そこから読み取れる日本の特色を説明する。	①方言や食文化など、さまざまな視点から日本を区分することができることを理解しているとともに、地域を区分することの目的や利点を理解している。 ②さまざまな主題図を基に自ら地域区分を行わせ、そこから読み取れる日本の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。
2年1学期	2年前期	63	165	章の学習を振り返ろう ■章の問い■ 日本は、自然環境や人口、産業、交通・通信などの特徴から、どのような地域に区分できるのだろうか。	① 日本の自然環境や人口、産業、交通・通信について学習した内容を振り返り、それぞれの特色を理解する。 ② 日本の自然環境や人口、産業、交通・通信の特色に着目してさまざまな日本の地域区分を考察する。 ③ 日本の自然環境や人口、産業、交通・通信の特色に着目して、日本の地域区分を追究する。	①日本の自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信の特色を、写真、図版、地図、雨量図などを、さまざまな資料を適切に選択して読み取り、理解している。 ②日本の自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信などの地域的特色を基に日本がどのように分かれるのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の自然環境や人口、産業、交通・通信の特色に着目して、日本の地域区分を主体的に粘り強く追究している。

第3章 日本の諸地域

第1節 九州地方 ■節の問い■ 九州地方の自然環境は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。				自然環境を中核とした考察の仕方に基づいて、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身に付ける。 ① 九州地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 ② 自然環境を中核とした考察の仕方を取りあげた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 ③ 九州地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ④九州地方についての課題を主体的に追究する。	①九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色を理解し、九州地方の自然環境を生かした産業や、防災の取り組みについて、それらの課題を理解している。 ②九州地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、自然環境や、大陸・国内との結び付き、地域の課題などと有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③九州地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境と生活、産業との関わりについての課題を主体的に追究しようとしている。	
2年1学期	2年前期	64	170 171	1 九州地方の自然環境 ◎九州地方は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。	① 日本の南に位置する広大な九州地方は、海に囲まれ、火山が多い特色があることを理解する。 ② 九州地方の気候の特色と、梅雨や台風などに伴う自然災害が起こる理由を考察する。	①火山が多く、リアス海岸やサンゴ礁も見られる九州地方の地形の特色を理解している。 ②九州地方の気候の特色を、ほかの地域の都市の雨量図と比較しながら考察している。 ③九州地方で発生しやすい自然災害について、雨量図を活用して考察している。
2年1学期	2年前期	65	172 173	2 火山と共にある九州地方の人々の生活 ◎火山は人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	① 火山と共に暮らす人々の工夫や、噴火への備えについて理解する。 ② 火山がもたらす産業や、人々の生活との関わりについて考察する。	①九州地方の火山や温泉の分布の特色を地図から読み取ることができる。 ①火山と共に暮らす人々の工夫や、噴火への備えの工夫について理解している。 ②火山が人々の生活や産業にもたらす影響について考察し、表現している。
2年1学期	2年前期	66	174 175	3 自然を生かした九州地方の農業 ◎火山活動の影響を受けた土地や温暖な気候を生かして、九州地方ではどのような農業が行われているのだろうか。	① シラスの分布と特性を理解するとともに、シラスでの農業の特色を理解する。 ② 二毛作や促成栽培が盛んな地域の共通点を、自然環境に着目し、関連付けて考察・表現する。	①九州南部の農業の特色を、シラスの分布とその特質との関わりに着目して理解している。 ①九州で盛んな二毛作や促成栽培について、九州の気候に着目して理解している。 ②九州南部と北部で盛んな農業について、自然環境的な背景と関連付けて説明している。
2年1学期	2年前期	67	176 177	4 都市や産業の発展と自然環境 ◎アジアの国々に近いということが、九州地方の都市や地域の産業の発展にどのような影響を与えているのだろうか。	① 福岡市が発展した背景を、大陸との距離に着目して理解する。 ② 北九州市の工業が発展した経緯と現在までの工業の発展について、アジアの国々との位置関係に着目して考察する。	①福岡市や博多湾の位置と大陸との距離に着目して福岡市が発展した背景を理解している。 ②八幡製鉄所と旧筑豊炭田の位置に着目して八幡製鉄所が北九州に造られた理由を考察している。 ②福岡県における観光業や工業の発展についてアジアの国々との位置関係から考察している。

2年1学期	2年前期	68	178 179	5 南西諸島の自然と人々の生活や産業 ◎南西諸島の自然環境は、人々の生活・文化や歴史、産業とどのように関わっているのだろうか。	(1)沖縄独自の文化や沖縄が抱える課題について、位置や結び付きの視点に着目し、理解する。 (2)南西諸島で特色ある生活や産業がみられる背景を、自然環境の視点に着目して考察する。	①沖縄が抱える課題について、位置や結び付き、経済の観点に着目して理解している。②南西諸島で特色ある生活や産業がみられる背景について、自然環境の特色に着目して考察している。
学期	前後期	時限	教科書ページ	項目 (◎ 学習課題)	目標	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
2年2学期	2年前期	69	180 181	学習を振り返ろう ■節の問い■九州地方の自然環境は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	(1)九州地方について学習した内容を、地図を用いて整理して理解する。 (2)「節の問い」に答える活動を通して九州地方の特色を考察する。 (3)九州地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、地域の課題などと有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 (4)九州地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境と生活、産業との関わりについての課題を主体的に追究する。	①九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色を理解させ、九州地方の自然環境を生かした産業や、防災の取り組みについて、さまざまな情報を調べ、理解している。 ②九州地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、自然環境や、大陸・国内との結び付き、地域の課題などと有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③九州地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境と生活、産業との関わりについての課題を主体的に粘り強く追究している。
第2節 中国・四国地方 ■節の問い■中国・四国地方での交通網・通信網の整備は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。				交通や通信を中核とした考察の仕方に基づいて、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1)中国・四国地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 (2)交通や通信を中核とした考察の仕方を取りあげた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 (3)中国・四国地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 (4)中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野に、交通・通信網の整備に伴う産業の発展や地域の活性化に向けた努力などについて、主体的に追究する。	①地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結び付きの変化と、それに関連する産業や生活の変化や課題について理解している。 ②中国・四国地方の結び付きの変化や産業の変容について、人や物の移動の量や方向、人々の工夫などと有機的に関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野に、交通・通信網の整備に伴う産業の発展や地域の活性化に向けた努力などについて、主体的に粘り強く追究しようとしている。	
2年2学期	2年前期	70	186 187	1 中国・四国地方の自然環境 ◎中国・四国地方は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。	(1)一三つの地域の気候の特色について、中国・四国地方の地形の特色と関連付けながら理解する。 (2)中国・四国地方が三つの地域に分けられる理由について、自然環境の特色を基に考察する。	①中国・四国地方の気候に影響を与える山地の位置と名称、その特色を理解している。 ②中国・四国地方の気候の特色を、雨温図で示された都市の位置から考察し、山陰・瀬戸内・南四国に分けて表現している。
2年2学期	2年前期	71	188 189	2 交通網の整備と人々の生活の変化 ◎本州四国連絡橋や高速道路網の整備は、離島や山間部の人々の生活と他地域との結びつきをどのように変化したのだろうか。	(1)本州と四国を結ぶ交通網の変化を理解する。 (2)本州と四国を結ぶ三つのルートの開通によって、地域に起きた変化について考察する。	①本州と四国を結ぶ本州四国連絡橋の三つのルートの位置と名称、その変化を理解している。 ②交通網の整備による、中国・四国地方と他地域との結び付きの変化について考察し、表現している。
2年2学期	2年前期	72	190 191	3 瀬戸内海への海運と工業の発展 ◎海運を利用して発達した瀬戸内海に面した地域の工業は、どのように変化したのだろうか。	(1)瀬戸内の臨海部に工業が発達した経緯を、自然環境や原料・製品輸送の面から理解できる。 (2)瀬戸内工業地域で、新しい工業製品の開発や生産が進められている理由を考察できる。	①瀬戸内で工業が発達した経緯を、地形の特色や原料・製品の輸送に着目させ、理解させる。 ②瀬戸内工業地域で新しい工業製品が生産されている理由を、企業の海外進出や外国との競争などから多面的に考察させ、説明させる。
2年2学期	2年前期	73	192 193	4 交通網を生かして発展する農業 ◎温暖な瀬戸内や南四国で生産される農産物は、どのようにして競争力を高め、全国へ市場を広げていったのだろうか。	(1)瀬戸内や南四国で盛んな農業の特色を理解する。 (2)瀬戸内や南四国では、農産物の市場をどのようにして拡大してきたかを考察する。	①気候の特色に関連付けて瀬戸内ではかんきつ類の栽培、南四国では野菜の促成栽培が盛んなことを理解している。 ②輸入品や産地間の競争に対応するため、品種改良を重なり輸送方法を工夫したりして市場の拡大を図ってきたことを考察し、表現している。
2年2学期	2年前期	74	194 195	5 人々を呼び寄せる地域の取り組み ◎交通網や情報通信技術の整備は、観光産業や人々の暮らしに、どのような変化を生み出したのだろうか。	(1)高齢化が進んでいる中国・四国地方の山間部や離島では、地域おこしの取り組みが行われていることを理解する。 (2)山陰では、観光業をどのように発展させているかを、地域の特色と関連付けて考察する。	①過疎化が進んでいる地域で行われている地域おこしの取り組みの特色を理解している。 ②山陰では交通網の整備や地域の歴史・文化などを生かして、観光業を発展させていることを考察し、表現している。
2年2学期	2年前期	75	196 197	学習を振り返ろう ■節の問い■中国・四国地方での交通網・通信網の整備は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	(1)中国・四国地方について学習した内容を、地図を用いて整理して理解する。 (2)「節の問い」に答える活動を通して中国・四国地方の特色を考察する。 (3)中国・四国地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、地域の課題などと有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 (4)中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野に、交通・通信網の結び付きによる地域の変化や課題を主体的に追究する。	①地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結び付きの変化と、それに関連する産業や生活の変化について理解している。 ②中国・四国地方の結び付きの変化や産業の変容について、人や物の移動の量や方向、人々の工夫などと有機的に関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野に、交通・通信網の整備に伴う産業の発展や地域の活性化に向けた努力などについて、主体的に粘り強く追究している。
第3節 近畿地方 ■節の問い■近畿地方での環境保全の取り組みは、人口増加や産業発展のなかで、どのように行われてきたのだろうか。				環境保全を中核とした考察の仕方に基づいて、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1)近畿地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 (2)環境を中核とした考察の仕方を取りあげた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 (3)近畿地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。	①地図や資料を活用し、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全などの特色ある事象を読み取り、近畿地方の地域的特色を理解している。 ②自然環境や歴史的景観の保全に関わる取り組みを、人口の分布や住民の生活および産業の変化などと関連付けながら、原因と対策、効果の面から多面的・多角的に考察し、表現している。 ③近畿地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた人々の生活や産業の課題を、主体的に追究しようとしている。	

2 年 2 学 期	2 年 後 期	76	202 203	1 近畿地方の自然環境 ◎近畿地方は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。	① 近畿地方は地形や気候の特色から、大きく三つの地域に分けられることを理解することができる。 ② 近畿地方では、中央部に平野や盆地が広がり、人口が集中していることを理解することができる。	①近畿地方の気候の特色を地形との関わりから理解している。 ②近畿地方の気候が北部・南部・中央部で異なる理由を、近畿地方の地形の特色から考察している。
2 年 2 学 期	2 年 後 期	77	204 205	2 琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏 ◎京阪神大都市圏の水源地である琵琶湖とその周辺では、水質や環境の保全のために、どのような取り組みが行われてきたのだろうか。	① 琵琶湖と淀川の水質保全が重要である理由を、人口や都市の視点と関連付けて考察できる。 ② 琵琶湖の水を守る取り組みの歴史的な経緯を理解し、環境保全の大切さに気付くことができる。	②琵琶湖の水質を保全するために、どのような取り組みが必要なのかを考察している。 ③琵琶湖と淀川の水質保全について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2 年 2 学 期	2 年 後 期	78	206 207	3 阪神工業地帯と環境問題への取り組み ◎阪神工業地帯では、工業の発展と共に生じた課題をどのように解決しようしてきたのだろうか。	① 阪神工業地帯の臨海部の工業地帯の変容を、環境対策の視点などから理解することができる。 ② 中小企業の高い技術を受け継いでいくための取り組みや、地域住民と共生していくための取り組みについて調べ、課題の解決について考察することができる。	①阪神工業地帯の特色について、臨海部の変化を中心に理解している。 ②阪神工業地帯における工業の発展と共に生じた課題の解決について考察し、表現している。
2 年 2 学 期	2 年 後 期	79	208 209	4 古都京都・奈良と歴史的景観の保全 ◎京都や奈良では、歴史的景観を保全するために、どのような取り組みを行っているのだろうか。	① 京都や奈良では、歴史的な景観や文化財を保全し、観光資源としていかしていることを理解することができる。 ② 京都や奈良の人々が、歴史的な景観や文化財の保全に取り組んでいる理由を考察することができる。	①京都や奈良には、歴史的な景観や多くの文化財を保全し、観光資源として生かしていることを理解している。 ②京都や奈良で、歴史的景観を保全する取り組みが行われている理由を考察している。 ③京都や奈良について、よりよい社会の実現を視野に、歴史的景観を保全するための課題を主体的に追究しようとしている。
2 年 2 学 期	2 年 後 期	80	210 211	5 環境に配慮した林業と漁業 ◎近畿地方では、森林の保全や水産資源の保護のために、どのような取り組みが行われているのだろうか。	① 近畿地方の林業や漁業では、環境保全のためにどのような取り組みを行っているかを理解することができる。 ② 近畿地方の林業は、森林管理の技術を受け継ぐ若い後継者が少ないことが課題であることに気付く、どのようなことができるかを考察することができる。	①近畿地方の林業や漁業の特色を、資料などを活用して理解している。 ②林業の後継者不足や水産資源の保護を地域の課題として捉え、その対策を考察している。
2 年 2 学 期	2 年 後 期	81	212 213	学習を振り返ろう ■節の問い■ 近畿地方での環境保全の取り組みは、人口増加や産業発展のなかで、どのように行われてきたのだろうか。	① 近畿地方について学習した内容を、地図を用いて整理し、理解することができる。 ② 近畿地方での環境保全の取り組みについて、人口増加や産業の発展の中でどのように行われてきたのかを考察し、表現することができる。 ③近畿地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた人々の生活や産業の特色を、主体的に追究することができる。	①地図にまとめる学習活動を通じて、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全の取り組みについて理解している。 ②自然環境や歴史的景観の保全に関わる取り組みを、人口の分布や住民の生活および産業の変化などと関連付けながら、原因と対策、効果の面から多面的・多角的に考察し、表現している。 ③近畿地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた人々の生活や産業の特色を、主体的に追究しようとしている。
第4節 中部地方 ■節の問い■ 中部地方の産業は、自然環境や交通網の整備を背景に、どのように変化してきたのだろうか。				産業を中核とした考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 ① 中部地方について、その地域的的特色や地域の課題を理解する。 ② 産業を中核とした考察の仕方で取りあげた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 ③ 中部地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。	①さまざまな資料を活用し、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取ることができるとともに、それぞれの自然環境の特色から異なる産業が発達したことを理解している。 ②中部地方の三つの地域において、それぞれ異なる産業が発達・変化した背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③産業の視点からみた中部地方の特色について、自然環境の課題の克服に関する人々の工夫・努力に関心をもちながら、主体的に粘り強く追究している。	
2 年 2 学 期	2 年 後 期	82	220 221	1 中部地方の自然環境 ◎中部地方は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。	① 中部地方の山脈や、そこから流れる河川が作る地形の特色を理解する。 ② 中部地方は地形や気候の特色から、東海・中央高地・北陸の三つの地域の違いを考察する。	①日本アルプスの位置と主な河川の名称を確認させ、河川によって形成された地形の特色を理解している。 ②中部地方の三つの地域の特色を、地形や気候などの自然環境の特色と関連付けながら考察し、表現している。
2 年 2 学 期	2 年 後 期	83	222 223	2 中京工業地帯の発展と名古屋大都市圏 ◎名古屋を中心とする地域では、どのようにして自動車などの輸送機械工業が盛んになったのだろうか。	① 名古屋大都市圏の広がりや、交通網による他地域とのつながりについて理解する。 ② 中京工業地帯の発展の経緯や、現在の特色について考察する。	①名古屋大都市圏の形成について、中京工業地帯の位置と広がりや周辺地域とのつながりから理解している。 ②豊田市を中心とした地域で自動車工業が発展した理由を、産業の移り変わりや人々の工夫、周辺地域との結び付きに着目して考察し、表現している。
2 年 2 学 期	2 年 後 期	84	224 225	3 東海で発達するさまざまな産業 ◎東海の産業は、自然環境や交通網などの条件を生かして、どのように発達してきたのだろうか。	① 静岡県では豊富な水資源や森林資源を生かした工業や、その技術を基にして発展した産業が盛んであることを理解する。 ② 静岡県で楽器の生産や製紙業が発展した背景を、地域の特色との関連から考察する。	①製紙・パルプ工業や施設園芸農業が発展した理由を理解している。 ②静岡県で楽器の生産や製紙業が発展した背景を、豊富な水資源や森林資源とその加工技術との関わりから考察し、表現している。
2 年 2 学 期	2 年 後 期	85	226 227	4 内陸にある中央高地の産業の移り変わり ◎内陸で山あいの環境にある中央高地では、時代の変化に合わせてどのように産業が発展してきたのだろうか。	① 中央高地の自然環境を生かした農業の変化と、交通網の発達を理解する。 ② 諏訪湖周辺の工業の変化について、自然環境や歴史的な経緯、交通網の発展と関連付けて考察する。	①自然環境の特色と関連付けて、山梨県と長野県で生産が盛んな農業や交通網の変化の特色を理解している。 ②諏訪湖周辺の工業の変化を、自然環境や歴史的な経緯、交通網の発展を基に、その特色と関連付けて考察し、表現している。
2 年 2 学 期	2 年 後 期	86	228 229	5 雪を生かした北陸の産業 ◎雪が多い北陸では、自然環境との関わりをなかで、どのように産業が発展してきたのだろうか。	① 北陸では、雪どけ水を稲作や火力発電などに活用することで産業を発展させてきたことを理解する。 ② 地場産業が発展した理由を、自然環境の特色や技術の発展などと関連付けて考察する。	①北陸の農業と地場産業の特色を、自然環境との関わりに着目して理解している。 ②北陸で地場産業が発展した理由を、地域の歴史的な背景や冬期間の副業と内職の技術、水力発電の電力などに着目して考察し、表現している。

2 年 2 学 期	2 年 後 期	87	230 231	学習を振り返ろう ■節の問い■ 中部地方の産業は、自然環境や交通網の整備を背景に、どのように変化してきたのだろうか。	① 中部地方について学習した内容を、地図を用いて整理して理解する。 ② 中部地方の産業について、自然環境や交通網の整備を背景に、どのように変化してきたのかを考察し、表現することができる。 ③ 中部地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や交通網の整備による産業の変化や課題を主体的に追究する。	① さまざまな資料を活用し、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取るとともに、それぞれの自然環境の特色から異なる産業が発達したことを理解している。 ② 中部地方の三つの地域において、それぞれ異なる産業が発達・変化した背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 産業の視点からみた中部地方の特色について、交通網の整備や自然環境の課題の克服に関する人々の工夫・努力に関心をもちながら、主体的に粘り強く追究している。
第5節 関東地方 ■節の問い■ 関東地方における人口の集中は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。				人口や都市・村落を中核とした考察の仕方に基づいて、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 ① 関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 ② 人口や都市・村落を中核とした考察の仕方であり、そこに生ずる事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 ③ 関東地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ④ 関東地方について、よりよい社会の実現を視野に、人口の集中の視点からみた人々の生活や産業などの地域的特色を主体的に粘り強く追究する。	① 関東地方の自然環境や産業の特色を、人口の集中との関わりに着目し、地図や統計、分布図などから読み取るとともに、人口の集中と都市圏の拡大に伴う課題を理解している。 ② 関東地方に人口が集中する理由を、第3次産業の発達のほか、他地域や海外との結び付き、自然環境の特色などに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 関東地方について、よりよい社会の実現を視野に、人口の集中の視点からみた人々の生活や産業などの地域的特色を主体的に粘り強く追究している。	
2 年 2 学 期	2 年 後 期	88	236 237	1 関東地方の自然環境 ◎関東地方は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。	① 関東地方の自然環境の特色を、山地や平野などの地形に着目して理解する。 ② 東京大都市圏への人口集中が、都市の気候にどのような影響を与えているかを考察する。	① 関東山地が周囲を取り囲み、その中に広大な関東平野が広がっているという地形の特色と関連付けて自然環境の特色を理解している。 ② 関東地方への人口集中がヒートアイランド現象などの気候の課題にどのような影響を与えているかを考察し、表現している。
2 年 2 学 期	2 年 後 期	89	238 239	2 多くの人が集まる首都、東京 ◎日本の首都であり、多くの人が集まる東京には、どのような特徴があるのだろうか。	① 人口が集中する東京は、官庁や大使館、大学、企業、金融機関などの諸機関が立地するほか、全国の交通網の起点になっていることなど、政治や経済の中心となっていることが理解する。 ② 千代田区や新宿区で昼夜間人口に違いが生じる理由について、さまざまな背景から考察する。	① 東京は、首都として官庁や大使館、大学、企業、金融機関などの諸機関が立地し、政治や経済の中心となっていることや、全国各地と結び付く交通網の起点になっていることを理解している。 ② 千代田区や新宿区で昼夜間人口に違いが生じる理由について、東京の中心部と周辺部の機能の違いから考察し、表現している。
2 年 2 学 期	2 年 後 期	90	240 241	3 東京大都市圏の課題と対策 ◎東京への人口集中によって、東京大都市圏ではどのような課題や変化がみられるのだろうか。	① 人口の集中と都市圏の拡大によって過密問題が発生してきたことを理解し、過密問題に対して取られてきた対策を理解する。 ② 1970年代以降につくられたニュータウンが現在抱えている問題と、人口が増加しているニュータウンの取り組みを考察する。	① 人口の集中と都市圏の拡大によって過密問題が発生してきたことや、過密問題に対して取られてきた対策を理解している。 ② 多摩ニュータウンと港北ニュータウンを事例に、1970年代につくられたニュータウンが現在抱えている問題と、人口が増加しているニュータウンの取り組みを考察し、表現している。
2 年 2 学 期	2 年 後 期	91	242 243	4 工業地域の変化と第3次産業の発達 ◎関東地方における工業や第3次産業の発達は、人口の集中とどのように関係しているのだろうか。	① 商業は人口が集中する地域や情報・通信が発達した地域に立地することを、分布図などを活用しながら理解する。 ② 東京大都市圏で情報サービス業や広告業が盛んな背景を多面的・多角的に考察する。	① 商業施設の立地や分布について、資料を活用しながら理解しているとともに、交通網の発達に伴う小売業の変化とそれに伴う地域の課題についても理解している。 ② 東京大都市圏で情報サービス業や広告業が盛んな背景を多面的・多角的に考察し、表現している。
2 年 2 学 期	2 年 後 期	92	244 245	5 大都市周辺の農業と山間部の過疎問題 ◎東京大都市圏の周辺の農業地域や山間部は、人口の多い東京大都市圏と、どのように結びついているのだろうか。	① 東京大都市圏からみた周辺の農業地域や山間部の役割について理解する。 ② 関東地方の山間部の特色と課題を理解し、高齢化と過疎の解決策について考察する。	① 東京大都市圏の周辺で農業が盛んな理由と、生産されている主な農産物について理解している。 ② 東京大都市圏からみた山間部の役割と課題、高齢化と過疎の解決に向けて、上野村の取り組みを通して、移住者を増やしたり交流人口を増やしたりする方法を考察し、表現している。
2 年 2 学 期	2 年 後 期	93	246 247	学習を振り返ろう ■節の問い■ 関東地方における人口の集中は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	① 関東地方について学習した内容を、地図を用いて整理して理解する。 ② 関東地方における人口の集中について、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうかを考察し、表現することができる。 ③ 関東地方について、よりよい社会の実現を視野に、人口の集中による人々の生活の変化や課題を、主体的に追究することができる。	① 関東地方の自然環境や産業の特色を、人口の集中との関わりに着目し、地図や統計、分布図などから読み取るとともに、人口の集中と都市圏の拡大に伴う課題を理解している。 ② 関東地方に人口が集中する理由を、第3次産業の発達のほか、他地域や海外との結び付き、自然環境の特色などに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 関東地方について、よりよい社会の実現を視野に、人口の集中の視点からみた人々の生活や産業などの地域的特色を主体的に粘り強く追究している。
第6節 東北地方 ■節の問い■ 東北地方の人々の生活や文化は、自然環境や交通網の整備を背景に、どのように変化してきたのだろうか。				生活・文化を中核とした考察の仕方に基づいて、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 ① 東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 ② 生活・文化を中核とした考察の仕方であり、そこに生ずる事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 ③ 東北地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ④ 東北地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や交通網の整備の視点から地域的特色を主体的に粘り強く追究する。	① 地図や写真などから、東北地方の自然環境や文化などの特色、産業の変化を読み取り、地域的特色や課題について理解している。 ② 東北地方の人々の生活や文化、産業の発達と、自然環境や交通網の広がりはどのように関わっているのか、多面的・多角的に考察している。 ③ 東北地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や交通網の整備の視点から地域的特色を主体的に粘り強く追究している。	
2 年 3 学 期	2 年 後 期	94	252 253	1 東北地方の自然環境 ◎東北地方は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。	① 東北地方の地形や気候などの自然環境の特色を理解する。 ② 地形の特色や緯度の関係から、東北地方の気候の特色を考察する。	① 東北地方は南北に長く、大きな河川の流域には広い盆地や平野が形成されていることを理解している。 ② 東北地方の南北と東西の気候の特色について、地形や緯度と関連付けて考察し、表現している。

2年3学期	2年後期	95	254 255	<p>2 伝統行事と生活や文化の変化</p> <p>◎東北地方の伝統的な祭りや行事は、人々の生活とどのように関わってきたのだろうか。</p>	<p>(1) 交通網の整備による、東北地方の祭りや生活の移り変わりを理解する。 (2) 東北地方の祭りや行事の特色を、自然環境などと関連付けて考察する。</p>	<p>①東北地方の伝統的な祭りや行事は、農業に由来するものが多いことを理解している。 ②東北地方の伝統行事や人々の生活の変化を、交通網の整備の観点から考察し、表現している。</p>
2年3学期	2年後期	96	256 257	<p>3 稲作と畑作に対する人々の工夫や努力</p> <p>◎東北地方の人々は、農業を発展させたり生活を豊かにしたりするために、どのような工夫をしてきたのだろうか。</p>	<p>(1) 東北地方の冷涼な気候に対応した、稲作と畑作の工夫について理解する。 (2) 東北地方で銘柄米の開発が行われてきた理由を、減反政策との関わりから考察する。</p>	<p>①東北地方で米の生産が盛んな理由を、東北地方の自然環境と栽培の工夫と関連付けて理解している。 ②東北地方で銘柄米の開発が行われてきた理由を、日本の米の消費量の減少に伴う減反政策と産地間の競争から考察し、表現している。</p>
2年3学期	2年後期	97	258 259	<p>4 水産業と果樹栽培における人々の工夫や努力</p> <p>◎東北地方の人々の生活と結びついた水産業や果樹栽培では、どのような取り組みが行われているのだろうか。</p>	<p>(1) 東北地方の果樹栽培や水産業の特色を理解する。 (2) 東北地方で果樹栽培が盛んな理由を、自然環境と生産の工夫から考察する。</p>	<p>①東北地方で栽培が盛んな果樹と、その主な生産地を理解している。 ②東北地方で果樹栽培が盛んな理由を、水はけがよい地形や昼夜の寒暖差が大きい気候、新しい品種の開発といった生産の工夫などから考察し、表現することができる。</p>
2年3学期	2年後期	98	260 261	<p>5 工業の発展と人々の生活の変化</p> <p>◎東北地方の工業や人々の生活は、どのようなことをきっかけに、変化してきたのだろうか。</p>	<p>(1) 交通網の整備に伴ってみられる、東北地方の工業や人々の生活の変化を理解する。 (2) 東北地方では、再生可能エネルギーの導入が盛んであることをにに関連付けて、再生可能エネルギーの在り方について考察する。</p>	<p>①東北地方で工業が盛んな都市の分布の特色や伝統的工芸品の特色と変化を理解している。 ②東北地方では、再生可能エネルギーの導入が進められていることに着目して再生可能エネルギーの在り方について考察し、表現している。</p>
2年3学期	2年後期	99	262 263	<p>学習を振り返ろう</p> <p>■節の問い■ 東北地方の人々の生活や文化は、自然環境や交通網の整備を背景に、どのように変化してきたのだろうか。</p>	<p>(1) 東北地方について学習した内容を、地図を用いて整理して理解する。 (2) 「節の問い」に答える活動を通して東北地方の特色を考察する。 ②東北地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、地域の課題などと有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ③東北地方について、よりよい社会の実現を視野に、人々の生活や文化の特色と課題を主体的に追究する。</p>	<p>①地図や写真などから、東北地方の自然環境や文化などの特色、産業の変化を読み取らせ、地域的特色や課題について理解している。 ②東北地方の人々の生活や文化、産業の発達と、自然環境や交通網の広がりとはどのように関わっているのか、多面的・多角的に考察している。 ③東北地方について、よりよい社会の実現を視野に、人々の生活や文化と自然環境や交通網の整備の観点から地域的特色を主体的に結び強く追究している。</p>
<p>第7節 北海道地方</p> <p>■節の問い■ 北海道地方の自然環境は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。</p>				<p>自然環境を中核とした考察の仕方に基づいて、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身に付ける。</p> <p>(1) 北海道地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 (2) 自然環境を中核とした考察の仕方を取りあげた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 (3) 北海道地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 (4) 北海道地方について、よりよい社会の実現を視野に、冷涼な自然環境を生かした人々の生活や産業の特色や工夫を主体的に追究する。</p>	<p>①北海道地方の冷涼な気候の特色を理解するとともに、厳しい自然環境のなかで暮らす人々の生活の工夫や、自然環境を生かして発展させてきた産業の特色を理解している。 ②冷涼な自然環境の影響を受ける人々の生活や産業の特色を、他地域との結び付きや厳しい自然環境を克服するための工夫などと関連付けて多面的・多角的に考察している。 ③北海道地方について、よりよい社会の実現を視野に、冷涼な自然環境を生かした人々の生活や産業の特色や工夫を、主体的に結び強く追究している。</p>	
2年3学期	2年後期	100	268 269	<p>1 北海道地方の自然環境</p> <p>◎北海道地方は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。</p>	<p>(1) 日本の北端に位置し、広大な面積をもつ北海道では、独特な地形や景観がみられることを理解する。 (2) 亜寒帯に属する寒冷な北海道の気候について、地域による違いが生じる理由を考察する。</p>	<p>①北海道の山脈や山地、平野の名称や北海道の気候の特色を地形や海流の特色を踏まえて理解している。 ②北海道地方と九州地方の地形や気候を比べて、共通点と相違点を考察し、表現している。</p>
2年3学期	2年後期	101	270 271	<p>2 雪と共にある北海道地方の人々の生活</p> <p>◎北海道地方の人々は、雪をどのように克服したり、活用したりしているのだろうか。</p>	<p>(1) 北海道で行われている、雪に備える工夫や雪を生かした取り組みについて理解する。 (2) 雪が人々の生活にどのような影響を与えているかを考察する。</p>	<p>①北海道の厳しい冬の寒さや雪に対する備えや雪を観光資源やエネルギー源として活用している取り組みを理解している。 ②雪が人々の生活にどのような影響を与えているかを考察し、表現している。</p>
2年3学期	2年後期	102	272 273	<p>3 自然環境を克服して発展した畑作や稲作</p> <p>◎北海道地方は、厳しい自然環境をどのように克服して、畑作や稲作を発展させてきたのだろうか。</p>	<p>(1) 北海道で米の生産が盛んになった経緯を、開拓の歴史を踏まえて理解する。 (2) 北海道で行われている土地改良や品種改良の取り組みの必要性について、自然環境との関わりから考察する。</p>	<p>①石狩平野は、屯田兵などによる開拓や、泥炭地の土地改良によって日本有数の米どころになったことを理解している。 ②泥炭地が広がっていたことや、味のよい米を開発する背景には、北海道の冷涼な気候が関わっていることを考察し、表現する。</p>
2年3学期	2年後期	103	274 275	<p>4 自然の恵みを生かす畑作や酪農、漁業</p> <p>◎北海道で、畑作や酪農、漁業が盛んになったのはなぜだろうか。</p>	<p>(1) 北海道で生産が盛んな農産物や漁獲量の多い水産物の実態を理解する。 (2) 北海道で畑作や酪農、漁業が盛んになった理由について、自然環境との関わりから考察する。</p>	<p>①北海道の生産量が全国の上位を占める主な農産物や水産物を理解している。 ②北海道で畑作や酪農、漁業が盛んになった理由を、冷涼な気候や沖合の海流を踏まえて考察し、表現している。</p>
2年3学期	2年後期	104	276 277	<p>5 北国の自然を生かした観光産業</p> <p>◎北海道地方の自然環境と観光産業の発展には、どのような関係があるのだろうか。</p>	<p>(1) 北海道では、豊かな自然や新鮮な食べ物を生かした観光業が盛んであることを理解する。 (2) 北海道の観光業の持続可能な発展に向けて必要なことについて考察する。</p>	<p>①北海道には魅力的な観光地が多いことと、観光客が増えた理由について理解している。 ②北海道を訪れる外国人観光客が増加している理由を、北海道の自然環境の特色から考察しているとともに、環境を保全しながら観光業を発展させるために必要なことについて考察し、表現している。</p>

2 年 3 学 期	2 年 後 期	105	278 279	学習を振り返ろう ■節の問い■ 北海道地方の自然環境は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	① 北海道地方について学習した内容を、地図を用いて整理して理解する。 ② 「節の問い」に答える活動を通して北海道地方の特色を考察する。 ③ 北海道地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、地域の課題などと有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ④ 北海道地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境と人々の生活の変化や課題を主体的に追究する。	① 北海道地方の冷涼な気候の特色を理解し、厳しい自然環境のなかで暮らす人々の生活の工夫や、自然環境を生かして発展させてきた産業の特色を理解している。 ② 冷涼な自然環境の影響を受ける人々の生活や産業の特色を、他地域との結び付きや厳しい自然環境を克服するための工夫などと関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 北海道地方について、よりよい社会の実現を視野に、冷涼な自然環境を生かした人々の生活や産業の特色や工夫に関心をもち、主体的に粘り強く追究している。
			第4部 地域の在り方			
第1章 地域の在り方 ■章の問い■ 課題を解決し、地域の魅力を生かすまちづくりを行うためには、どのような取り組みが必要なのだろうか。				空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身につける。 (1) 地域の実態や課題解決のための取組を理解できる。 (2) 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解する。 (3) 地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 (4) 地域の発展や持続可能な社会を目指すために、これからの地域の在り方について関心をもち、主体的に追究する。	① 解決に向けて考察・構想したことを適切に説明するとともに、地域の実態や課題解決の取り組みについて理解している。 ② 地域の在り方を、地域の変容や持続可能性などに着目し、そこでみられる地理的な課題について多面的・多角的に考察・構想している。 ③ 地域の発展や持続可能な社会を目指すために、これからの地域の在り方について関心をもち、主体的に粘り強く追究している。	
2 年 3 学 期	2 年 後 期	106	284 285	1 追究するテーマを決めよう ◎ 地球的課題や地域にみられる課題を振り返り、追究するテーマを設定しよう。	(1) 持続可能な地域の在り方を構想するために、地域の地理的な課題を把握し、その解決に向けた追究の問い(テーマ)を設定する。 (3) 地域の在り方について、課題を主体的に追究、解決するために見通しをもつ。	① 地域の在り方を考える際に追究する問いを、地理的な見方・考え方や注目する視点を生かしながら設定している。 ③ 地域の在り方について、課題を主体的に追究、解決するために調整しながら見通しをもつことができる。
			2 年 3 学 期	2 年 後 期	107	286 287
2 年 3 学 期	2 年 後 期	108				288 289
			2 年 3 学 期	2 年 後 期	109	290 291
2 年 3 学 期	2 年 後 期	110				292 293

1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一

学習指導要領との関連：B(3) 7(ア)、イ(ア)

◆評価規準の例(節全体)

指導目標	・ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武將や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解させる。	知識・技能	○ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武將や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解している。
	・交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の動きと統一事業について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。	思考・判断・表現	○交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の動きと統一事業について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。
	・世界の動きと統一事業について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	主体的に学習に取り組む態度	●世界の動きと統一事業について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

◆評価規準の例(各時間)

累計時間	頁	主な学習内容	学習目標	評価規準の例	
44	p.100～101	1 ヨーロッパ世界の変化	・ルネサンスと宗教改革を通して、ヨーロッパ世界の変化の様子を理解する。	知技	●ルネサンスと宗教改革によりヨーロッパ世界が変化したことを理解している。
			・ヨーロッパ世界の変化を、それまでの時代との比較やヨーロッパ外との関係に着目して考察し、表現する。	思判表	●ヨーロッパ世界の変化を、前の時代の文化と違い、ヨーロッパ外にまで活動していったことに着目して考察し、表現している。
45	p.102～103	2 ヨーロッパ世界の拡大	・アメリカ大陸とアフリカ大陸の様子から、ヨーロッパの世界進出の影響を理解する。	知技	●ヨーロッパの世界進出がアメリカ大陸やアフリカ大陸に及ぼした影響を理解している。
			・主にアジアとイスラム商人との関係から、ヨーロッパ人が海外に進出した理由を考察し、表現する。	思判表	●ヨーロッパ人がアジアを目指した理由を考察し、表現している。
46	p.104～105	3 ヨーロッパ人との出会い	・ヨーロッパの様々な文物やキリスト教が、日本社会に広まっていく様子を理解する。	知技	●ヨーロッパの様々な文物やキリスト教が、日本社会に広まっていく様子を理解している。
			・ヨーロッパ人との出会いによる日本社会の変化を、鉄砲やキリスト教と関連付けて考察し、表現する。	思判表	●ヨーロッパ人との出会いによる日本社会の変化を、鉄砲やキリスト教と関連付けて考察し、表現している。
47 48	p.106～107	4 織田信長・豊臣秀吉による統一事業	・織田信長と豊臣秀吉によってどのように戦いを終わらせたのかを理解する。	知技	●織田信長と豊臣秀吉によりどのように統一事業を進め、戦いを終わらせたのかを理解している。
			・信長や秀吉がどのように戦いを終わらせたのかを、信長の政策や統一事業の進展と関連付けて考察し、表現する。	思判表	●織田信長の政策が商業を発達させたことを考察し、表現している。
49	p.108～109	5 兵農分離と秀吉の対外政策	・秀吉の政策が身分制など近世の基盤をつくったことを理解する。	知技	●秀吉の政策が身分制を基にした近世の基盤を作ったことを理解している。
			・太閤検地と刀狩、朝鮮侵略によって、社会がどのように変化したかを考察し、表現する。	思判表	●兵農分離の政策によって社会の枠組みがどのように変化したかを、中世の社会と比較して考察し、表現している。

50	p.110～ 111	6 桃山文化	・ヨーロッパ人の来航によって生まれた文化の様子とその影響を理解する。	知技	● ヨーロッパ人の来航によって生まれた新しい文化について理解している。
			・桃山文化の特色を建築・絵画・芸能などから理解し、その特色が生まれた理由を考察し、表現する。	思判表	● 桃山文化の特色を、生活に根ざした文化の広がりや武将・豪商の経済力、中世の文化の継承などの視点から考察し、表現している。
	p.140	■探究のステップ	・クラゲチャートを活用して、ヨーロッパ人との出会いとその影響、信長・秀吉の統一事業などを関連付けて考察・表現し、戦乱の世が終わった理由を理解する。	知技	○ 戦乱の世が終わった理由を理解している。
				思判表	○ 戦乱の世が終わった理由について、ヨーロッパ人との出会いとその影響、信長・秀吉の政策を関連付けて考察し、表現している。
				態度	● 世界の動きと統一事業について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

2 節 江戸幕府の成立と対外政策の変化

(配当 5 時間)

学習指導要領との関連 : B(3) 7(4)、1(7)

◆評価規準の例 (節全体)

指導 目標	・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。	知識・技能	○ 江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。
	・統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府の成立と対外関係について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。	思考・判断・表現	○ 統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府の成立と対外関係について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。
	・江戸幕府の成立と対外関係について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	主体的に学習に取り組む態度	● 江戸幕府の成立と対外関係について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

◆評価規準の例 (各時間)

累計 時間	頁	主な学習内容	学習目標	評価規準の例	
51	p.112～ 113	1 江戸幕府の成立と 支配の仕組み	・江戸時代、幕府がどのように大名などを支配していたかを理解する。	知技	● 様々な工夫により幕府が全国を支配していたことを理解している。
			・幕府の大名らを支配する方法の特徴を外様大名の配置や武家諸法度などに着目して考察し、表現する。	思判表	● 幕府の支配方法の特徴を、大名配置や武家諸法度、朝廷・寺社との関係などに着目して考察し、表現している。
52	p.114～ 115	2 貿易の振興から 「鎖国」へ	・幕府の対外政策の方針がどのように変化していったかを理解する。	知技	● 幕府の対外政策が貿易の振興から「鎖国」へと転換したことを理解している。
			・江戸幕府の対外政策の変化について年表などを活用し、貿易やキリスト教との関係や島原・天草一揆などを関連付けて考察し、表現する。	思判表	● 江戸幕府が17世紀の前半に対外政策を変化させて「鎖国」した理由を、貿易やキリスト教との関係や島原・天草一揆などを関連付けて考察し、表現している。
53	p.116～ 117	3 江戸時代の対外関係	・幕府による統制の中でも、各地で世界と様々な形の交流があったことを理解する。	知技	● 江戸時代の日本が様々な制限をかけながら世界の国々と交流があったことを理解している。
			・幕府の世界との交流の在り方を、オランダ、中国、朝鮮に対する関わり方に着目して考察し、表現する。	思判表	● 幕府がどのような交流を行っていたかを、オランダ、中国、朝鮮各国にどのような措置をとって交流していたかに着目して考察し、表現している。

54	p.118～119	4 琉球王国やアイヌ民族との関係	・江戸幕府が琉球王国やアイヌ民族とどのような関係をもったかを理解する。	知技	●幕府が琉球王国・アイヌ民族に対し、支配的な関係にあったことを理解している。
			・幕府と琉球王国・アイヌ民族との関係を、それぞれどのような関係にあったのかに着目して考察し、表現する。	思判表	●幕府の琉球王国・アイヌ民族との関係を、琉球使節の在り方やアイヌの人々の暴動などに着目して考察し、表現している。
-	p.120～121	[もっと知りたい！] アイヌ文化とその継承	・日本の文化の多様性を理解する。	知技	●日本の文化が、アイヌの文化も含めた多様なものであることを理解している。
			・日本の文化の多様性を、アイヌ文化に着目して考察し、表現する。	思判表	●日本の文化の多様性を、アイヌ文化の特徴や、文化の継承に着目して考察し、表現している。
55	p.122～123	5 きまざまな身分と暮らし	・江戸幕府が庶民をどのように支配していたか理解する。	知技	●江戸幕府がどのように庶民を支配していたかを理解している。
			・江戸幕府の庶民支配の方法を、身分制や役割に着目して考察し、表現する。	思判表	●江戸幕府の庶民支配の方法を、身分による区分や役割を明確にしたことに着目して考察し、表現している。
	p.141	■探究のステップ	・Yチャートを活用して、幕府の諸政策と、支配の工夫を関連付けて考察・表現し、江戸時代が約260年続いた理由を理解する。	知技	○江戸時代が約260年続いた理由を理解している。
				思判表	○江戸時代が約260年続いた理由を、幕府の諸政策の目的と関連付けて考察し、表現している。
				態度	●江戸幕府の成立と対外関係について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3節 産業の発達と幕府政治の推移

(配当9時間)

学習指導要領との関連：B(3)ア(9)イ、イ(7)

◆評価規準の例（節全体）

指導目標	・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。	知識・技能	○産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。
	・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。		○社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。
	・産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。	思考・判断・表現	○産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。
	・産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	主体的に学習に取り組む態度	●産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	頁	主な学習内容	学習目標	評価規準の例	
56	p.124～125	1 農業や諸産業の発展	・江戸時代にどのように産業が発達したか理解する。	知技	●江戸時代に農業や鉱工業といった諸産業が発展したことを理解している。
			・江戸時代の産業の発達について、農地の拡大、特産物の開発、鉱業の発達などに着目して考察し、表現する。	思判表	●江戸時代の産業の発展の理由を、新田開発や漁業の発展など各産業における生産量の増加に着目して考察し、表現している。
57	p.126～127	2 都市の繁栄と交通路の整備	・交通路が整備され、三都をはじめとする都市が発展したことを理解する。	知技	●産業や交通の発達によって貨幣経済が進展し、財力をつけた町人の力が増していったことを理解している。
			・江戸時代に交通や都市が発達した理由を、幕府や藩の政治の仕組み、物資の流通などから考察し、表現する。	思判表	●江戸時代に交通や都市が発達した理由を、幕府や藩の政治の仕組み、物資の流通などから考察し、表現している。
58	p.128～129	3 幕府政治の安定と元禄文化	・元禄時代の政治の特色や文化の特色を理解する。	知技	●元禄時代の政治が、それまでの武断政治から文治政治へと転換したことや上方で町人を中心とした文化が発展したことを理解している。
			・元禄時代の政治や文化の特色を、時代背景や文化の担い手に着目して考察し、表現する。	思判表	●元禄時代の政治や文化の特色を、儒学の広まりや、産業の発達、庶民の成長と関連付けて考察し、表現している。
59	p.130～131	4 享保の改革と社会の変化	・享保の改革が行われた時期の社会の変化を理解する。	知技	●享保の改革の時期に農村の構造変化が起き、幕府や藩が財政難で苦しんだことを理解している。
			・社会の変化の様子を、享保の改革の内容や百姓の行動と関連付けて考察し、表現する。	思判表	●社会の変化を、幕府の財政難対策や百姓一揆の増加などと関連付けて考察し、表現している。
60	p.132～133	5 田沼意次の政治と寛政の改革	・田沼意次と松平定信の政治にどのような特色があったかを理解する。	知技	●田沼意次と松平定信の政治の特色を理解している。
			・田沼意次と松平定信の政治の特色を、置かれた状況の違いと二人の政策を比較しながら考察し、表現する。	思判表	●田沼意次と松平定信の政治の特色を、二人の経済政策の違い、外国の接近などの状況の比較を通して考察し、表現している。

61	p.134～ 135	6 新しい学問と化政文化	・18世紀～19世紀前半の学問や文化の特色を理解する。	知技	●18世紀～19世紀前半の日本では蘭学による文化の成長や、江戸の町人を中心とした文化が発展したことを理解している。
			・18世紀～19世紀前半の学問や文化の特色を、蘭学や江戸の発展と関連付けて考察し、表現する。	思判表	●18世紀～19世紀前半の日本の学問や文化の特色を、学問や文化の発達とそれを生んだ庶民の活躍に着目して考察し、表現している。
62	p.136～ 137	7 外国船の出現と天保の改革	・幕府や諸藩がそれぞれの危機にどのように対応したかを理解する。	知技	●幕府や諸藩が財政問題や対外問題などに様々な対応をしていったことを理解している。
			・幕府や諸藩の動向を、社会状況の変化や国際状況などと関連付けて考察し、表現する。	思判表	●幕府や諸藩の動向を、さきんや財政状況、外国の接近や反乱と関連付けて考察し、表現している。
	p.141	■探究のステップ	・社会の変化や外国の接近などを関連付けて考察・表現し、幕府が改革を迫られた背景を理解する。	知技	○幕府が改革を迫られた背景を理解している。
				思判表	○幕府が改革を迫られた背景を、社会の変化や外国の接近などと関連付けて考察し、表現している。
				態度	●産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
63 64	p.140～ 143	■まとめの活動	・フィッシュボーン図を活用して、近世の日本でどのような社会の変化が見られたかを理解し、その理由を中世との違いに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。	知技	○近世の主な人物や歴史的対象とそれらの関連を捉え、近世が安定した理由を理解している。
				思判表	○近世がどのように安定したかを多面的・多角的に考察し、表現している。
				思判表	○近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 ※B(3)イ(イ)
				態度	○近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

第5章 開国と近代日本の歩み

(配当27時間)

◆評価規準の例 (章全体)

指導 目標	・ 欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。	知識・技能	○ 欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。
	・ 開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。		○ 開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。
	・ 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解させる。		○ 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。
	・ 我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。		○ 我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。
	・ 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。		○ 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。
	・ 近代(前半)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。		○ 近代(前半)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。
・ 近代(前半)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	主体的に学習に取り組む態度	○ 近代(前半)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	

◆評価規準の例 (導入)

(配当1時間)

累計時間	頁	主な学習内容	学習目標	評価規準の例	
65	p.144～145	■導入の活動 近代化とはどのようなことか考えよう	・ 年表にある事柄や人物、文化財のイラストから、小学校で学習した内容を振り返る。	思判表	● 資料の読み解きや比較から、この時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。
			・ 写真や年表、絵画などの資料から、この時代に起こった社会の変化や近代化のイメージを持ち、前の時代との違いを予想する。	態度	● 近代化によって日本の国家や社会はどのように変化したかという探究課題に対して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。

1 節 欧米における近代化の進展

(配当 5 時間)

学習指導要領との関連 : C(1) 7(7)、4(7)

◆評価規準の例 (節全体)

指導 目標	・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。	知識・技能	○ 欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。
	・工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。	思考・判断・表現	○ 工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。
	・欧米における近代社会の成立について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	主体的に学習に取り組む態度	● 欧米における近代社会の成立について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

◆評価規準の例 (各時間)

累計 時間	頁	主な学習内容	学習目標	評価規準の例	
66	p.146～ 147	1 イギリスとアメリカの革命	・イギリスとアメリカの政治体制の変化と現代の政治とのつながりを理解する。	知技	● イギリスとアメリカが革命を経て近代国家を形成していった過程と、イギリスの議会政治が現代社会の議会制度の基となっていることを理解している。
			・イギリスとアメリカの政治体制の変化を、両国の革命やそれを支えた思想に着目して考察し、表現する。	思判表	● イギリスとアメリカの政治体制の変化を、革命とそれを支えた思想、その後の政治体制と現代の政治とのつながりを関連付けて考察し、表現している。
67	p.148～ 149	2 フランス革命	・フランスの政治体制の変化と現在の政治とのつながりを理解する。	知技	● フランスが革命を経て近代国家を形成していった過程と、人権宣言が現代社会の基本的な人権の基となっていることを理解している。
			・フランスの政治体制の変化を、革命とその影響に着目して考察し、表現する。	思判表	● フランスの政治体制の変化を、革命の成果と現代の政治とのつながりに着目して考察し、表現している。
68	p.150～ 151	3 ヨーロッパにおける国民意識の高まり	・19世紀のヨーロッパ各国でどのような社会変化が起きたかを理解する。	知技	● ヨーロッパで国民国家が形成され、近代国家としてのまとまりをつくっていったことを理解している。
			・ヨーロッパ各国の社会変化を、国民の登場や国家のまとまりに着目して考察し、表現する。	思判表	● ヨーロッパ各国の社会変化を、国民の登場と、各国の近代的な政策とを関連付けて考察し、表現している。
69	p.152～ 153	4 ロシアとアメリカの拡大と発展	・ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し、発展していく過程を理解する。	知技	● ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し、発展して大国となっていく過程を理解している。
			・ロシアとアメリカ合衆国が拡大・発展する過程で、様々な問題を抱えていたことを考察し、表現する。	思判表	● ロシアとアメリカ合衆国が拡大・発展する過程を、貧富の差や先住民の問題、人種問題などと関連付けて考察し、表現している。

70	p.154～ 155	5 産業革命と資本主義	・産業革命が欧米諸国に与えた影響の大きさを理解する。	知技	● 産業革命による変化と資本主義社会の成立が、ヨーロッパ諸国に広がっていく過程を理解している。
			・産業革命を経て、経済の仕組みが大きく変化し、労働問題や社会問題が発生したことを考察し、表現する。	思判表	● 産業革命が欧米諸国に与えた影響を労働問題や社会主義と関連付けて考察し、表現している。
	p.198	■探究のステップ	・近代ヨーロッパの社会の変化を市民革命や産業革命と関連付けて考察・表現し、欧米諸国が世界に先駆けて発展した理由を理解する。	知技	○ 欧米諸国が世界に先駆けて発展した理由を理解している。
				思判表	○ 欧米諸国が世界に先駆けて発展した理由を、市民革命や産業革命と関連付けて考察し、表現している。
				態度	● 欧米における近代社会の成立について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

2 節 欧米の進出と日本の開国

(配当 4 時間)

学習指導要領との関連 : C(1) 7(7)(4)、4(7)

◆評価規準の例 (節全体)

指導 目標	・アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。	知識・技能	○ アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。	
	・開国とその影響などを基に、人々の生活が大きく変化し、江戸幕府が滅亡したことを理解させる。		○ 開国とその影響などを基に、人々の生活が大きく変化し、江戸幕府が滅亡したことを理解している。	
	・ヨーロッパでの工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アジア諸国の動き、江戸幕府の滅亡について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。		思考・判断・表現	○ ヨーロッパでの工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アジア諸国の動き、江戸幕府の滅亡について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。
	・アジア諸国の動き、江戸幕府の滅亡について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。		主体的に学習に取り組む態度	○ アジア諸国の動き、江戸幕府の滅亡について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

◆評価規準の例 (各時間)

累計 時間	頁	主な学習内容	学習目標	評価規準の例	
71	p.156～ 157	1 欧米のアジア侵略	・欧米諸国がどのようにアジアに進出したかを理解する。	知技	● 欧米諸国がアジアに進出し、武力により植民地支配を始めたことを理解している。
			・欧米諸国のアジア進出とそれに対するアジア諸国の動きに着目して考察し、表現する。	思判表	● 欧米諸国のアジア進出の過程を、アジア諸国の抵抗運動と関連付けて考察し、表現している。
72	p.158～ 159	2 開国と不平等条約	・ペリー来航によって、幕府が欧米諸国とどのような外交関係を結んだか理解する。	知技	● 幕府が国内に様々な意見がある中、欧米諸国と条約を結び、開国したことを理解している。
			・幕府が結んだ欧米との外交関係を、条約の内容に着目して考察し、表現する。	思判表	● 幕府が結んだ欧米との外交関係を、条約の内容などに着目して考察し、表現している。
73	p.160～ 161	3 開国後の政治と経済	・開国により日本がどのような影響を受けたかを理解する。	知技	● 開国後の日本が政治的にも経済的にも混乱したことを理解している。
			・開国によって、日本が受けた影響を政治や経済と関連付けて考察し、表現する。	思判表	● 開国が日本に与えた影響を、大老暗殺など国内の混乱や、物価の上昇などと関連付けて考察し、表現している。

74	p.162～ 163	4 江戸幕府の滅亡	・倒幕への動きや幕府の対応、外国の動きから、江戸幕府の滅亡までの経緯を理解する。	知技	● 大政奉還が行われ、江戸幕府が滅ぶまでに起こった主な経緯を理解している。
			・江戸幕府滅亡までの流れを、開国による政治的及び社会的な影響とその推移に着目して考察し、表現する。	思判表	● 江戸幕府の滅亡を、雄藩の動きと開国による生活の変化に着目して考察し、表現している。
	p.198	■探究のステップ	・欧米諸国の進出や開国、その後の幕府の対応と関連付けて考察・表現し、江戸幕府が滅んだ理由を理解する。	知技	○ 江戸幕府が滅んだ理由を理解している。
				思判表	○ 江戸幕府が滅んだ理由を、欧米諸国の進出や開国、その後の幕府の対応、民衆の生活と関連付けて考察し、表現している。
				態度	● アジア諸国の動き、明治維新について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3節 明治維新

(配当9時間)

学習指導要領との関連：C(1)ア(イ)(ウ)、イ(ア)

◆評価規準の例（節全体）

指導 目標	・富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。	知識・技能	○ 富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。
	・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解させる。		○ 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解している。
	・明治維新の諸改革の目的、議会政治や外交の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。	思考・判断・表現	○ 明治維新の諸改革の目的、議会政治や外交の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。
	・明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	主体的に学習に取り組む態度	● 明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

◆評価規準の例（各時間）

累計時間	頁	主な学習内容	学習目標	評価規準の例	
75	p.166～167	1 新政府の成立	・新政府の方針や諸改革の内容、中央集権国家の体制が確立していったことを理解する。	知技	● 新政府により、中央集権国家の体制が確立し、近代国家の基礎が整えられていったことを理解している。
			・新政府が樹立し、日本の社会がどのように変化したかを理解する。		
			・明治維新による社会の変化を政治制度や身分に着目して考察し、表現する。	思判表	● 明治維新によって生じた社会変化について、廃藩置県や身分制度の廃止と関連付けて考察し、表現している。
76 77	p.168～169	2 明治維新の三大改革	・新政府が行った学制・兵制・税制の改革による人々の生活の変化を理解する。	知技	● 学制・兵制・税制の改革により、人々が国民としての負担を受ける生活となったことを理解している。
			・明治維新の三大改革が人々の生活に及ぼした影響について、江戸時代の生活との比較をして考察し、表現する。	思判表	● 新政府が行った学制・兵制・税制の改革の影響を、教育、兵役、税に着目して、江戸時代の制度と比較しながら考察し、表現している。
78	p.170～171	3 富国強兵と文明開化	・新政府が行った富国強兵・殖産興業政策による人々の生活の変化を理解する。	知技	● 政府による富国強兵・殖産興業政策により、近代的な産業の発展や文化の欧米化が進んだことを理解している。
			・富国強兵・殖産興業政策が人々の生活に及ぼした影響について、江戸時代の生活との比較をして考察し、表現する。	思判表	● 富国強兵・殖産興業政策による変化を、産業の発展や欧米文化の広まりに着目し、江戸時代と比較をして考察し、表現している。
79	p.172～173	4 近代的な国際関係	・明治政府は諸外国とどのような外交関係を結ぼうとしたか理解する。	知技	● 明治政府が欧米諸国とは平等な関係を、アジア諸国とは欧米諸国のような条約による外交関係を結ぼうとしていたことを理解している。
			・明治政府の外交方針を、欧米とアジアそれぞれの関係に着目して考察し、表現する。	思判表	● 明治政府が行った外交政策について、欧米諸国との関わり方や、アジア諸国との間で結ばれた条約とその内容から考察し、表現している。

81	p.176～ 177	6 領土をめぐる問題 の背景	・竹島、北方領土、尖閣諸島が我が国の固有の領土 になった時期や経緯と、日本政府の見解を理解す る。	知技	● 竹島、北方領土、尖閣諸島の領有の歴史的な経 緯と日本政府の見解を理解している。
			・竹島、北方領土、尖閣諸島について、我が国の固 有の領土として人々の生活の舞台となった背景を考 察し、表現する。	思判表	● これらの島の領有に関する各国の主張も踏ま え、我が国の固有の領土である背景を考察し、表 現している。
82	p.178～ 179	7 自由民権運動の高 まり	・自由民権運動が求めていた社会とはどのようなも のかを理解する。	知技	● 自由民権運動が一部の権力者だけではなく、国 会をつくり幅広く人々が政治参加できることを求 めていたことを理解している。
			・自由民権運動が求めていた社会について、運動の 内容や憲法草案などを関連付けて考察し、表現す る。	思判表	● 自由民権運動が求めていた社会について、藩閥 政府への不満や様々な権利を求めた憲法草案の内 容を関連付けて考察し、表現している。
83	p.180～ 181	8 立憲制国家の成立	・政府が主導した憲法の制定過程、大日本帝国憲法 の内容の特徴を理解する。	知技	● 憲法の制定過程とその内容の特徴、選挙制度な どを理解している。
			・大日本帝国憲法制定のねらいや、現代とのつなが りを理解する。	知技	● 大日本帝国憲法が立憲制国家成立のために制定 され、憲法に基づいて政治が行われるという現代 とのつながりを理解している。
			・議会政治が始まったことの歴史的意義や、現代の 政治とのつながりを考察し、表現する。	思判表	● 大日本帝国憲法の制定過程とその内容を踏ま え、その特色と現代とのつながりについて考察 し、表現している。
p.199	■探究のステップ	・クラゲチャートを活用して、欧米諸国との関係と 国内の改革を関連付けながら考察・表現し、日本が ほかのアジア諸国に先駆けて近代化した理由を理解 する。	知技	○ 日本が明治維新を通じて国内の改革に成功し、 植民地化されることなく近代化したことを理解し ている。	
			思判表	○ 日本がほかのアジア諸国に先駆けて、近代化に 成功した理由を、欧米諸国との関係や国内の改革 や国民生活の変化と関連付けて考察し、表現して いる。	
			態度	● 明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まり と国際社会との関わりについて、そこで見られる 課題を主体的に追究、解決しようとしている。	